

お気軽にご来場、
お問い合わせください!



ひめちゃん

おおはしがわ

大橋川コミュニティセンターとは?

「大橋川コミュニティセンター」は、大橋川の改修やそれに伴うまちづくりについて、市民の方々が知りたい情報を気軽に得たり、意見交換できる場として、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が共同して管理・運営をしています。また、皆様のご意見を活かすための相談窓口も用意しております。



勉強会・講座を
ご希望の方は
当センターまで
お申込ください。

治水効果の
わかる
水理模型
常時展示中!



まなびの場

大橋川改修に関する内容のほか、松江市の地形や橋の歴史など、様々なテーマをきめて、市内の名所に向いての出前講座を開催しています。

情報の場

治水計画の考え方、昭和47年7月、平成18年7月の洪水時の写真などのパネル展示や、洪水とダム・放水路・大橋川改修の役割をシミュレーションできる大型水理模型、天神川水門模型などを設置しています。

ふれあいの場

市民の方々の意見交換や地区の協議会の場として活用していただけます。

【沿革】
・平成14年4月 松江市向島町134-4 (旧松江市ガス局東隣)に開設
・平成21年8月 松江市殿町383 (山陰中央ビル1階)に移転

大橋川改修を市民の方々により分かりやすく、より身近に感じていただくために近日中にコミュニティセンターのレイアウト変更を行う予定です。ご期待ください!!



みことくん

大橋川コミュニティセンター

【休館日】土日祝祭日・年末年始 【開館時間】9:30~16:00 【駐車場】なし
〒690-0887 松江市殿町383番地 山陰中央ビル1階
TEL(0852)28-3621 FAX(0852)28-3623

E-mail : izumo@cgr.mlit.go.jp

ウェブサイト : <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/comisen/>

大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が共同して管理・運営をしています。

●パネル展示:松江市民活動センター(STICビル1階) 〒690-0061 松江市白濁本町43番地



第10回大橋川景観アドバイザー会議の様子



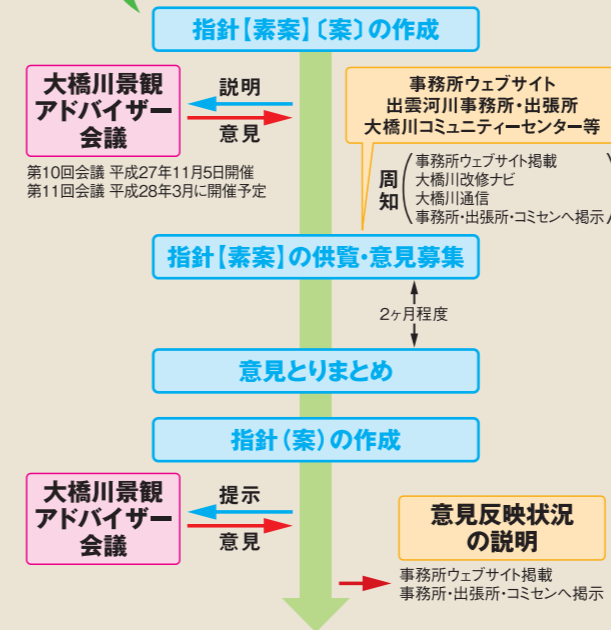
大橋川通信

大橋川改修情報紙

～城下町の情緒と彩り素材の探求～

大橋川らしい景観を保つ設計指針の素案を公表し、策定に向けた審議を始めています!

『大橋川改修に伴う河川構造物等の景観設計指針』策定までの流れ(予定)



国土交通省出雲河川事務所では、平成25年3月から大橋川改修における護岸や水門などの施工に際し、「大橋川景観アドバイザー会議」を開催し、景観に関する専門的な知識を有する方からご意見・ご助言を頂き、水辺景観に配慮した設計に取り組んでいます。

大橋川は松江市の骨格となる河川景観軸に位置づけられており、水都松江にふさわしい良好な景観の形成を図るため景観法に基づく松江市景観計画の景観重要公共施設の整備に関する事項として「大橋川景観形成計画」が定められています。

大橋川改修にあたっては、上記計画やこれまでの大橋川景観アドバイザー会議の審議内容等を踏まえた、より具体的な設計方針と施工に際しての留意事項などを取りまとめた設計指針を定め、長期にわたり一貫した景観形成方針を保つことが必要となります。

この設計指針の策定に向け、平成27年11月に開催した第10回会議において『大橋川改修に伴う河川構造物等の景観設計指針』の審議を始めました。

次の平成28年3月開催予定の第11回会議で、前回会議でいただいた専門家からのご意見を反映させた指針【素案】の再審議を行い、その後、広く地域の皆さまよりこの設計指針【素案】に対してご意見を募集する予定です。

※上記、流れについては、今後の進捗を踏まえて修正されることがあります

天神川水門見学会

～天神川水門が動く様子を 多くの皆さまに見ていただきました～

天神川水門は、宍道湖の水位が上昇した際に、天神川への洪水の流入を防止し、松江市街地の浸水被害を防ぐ目的で、国土交通省が天神川最上流部に設置し、平成27年2月から運用を開始しています。

昨年10月には天神川水門の定期点検にあわせた見学会を開催し、白潟地区にお住いの皆さま（約30名）に、実際に水門が稼働している様子や、天神川水門が平成27年度「全建賞^{※1}」を受賞したことの報告、記念プレートのお披露目を行いました。参加者の天神川水門への関心は高く、当日は天候にも恵まれ、盛況のうちに見学会は終了しました。

また、11月には松江市中央第2児童クラブの児童を対象とした見学会も開催し、天神川水門の稼働状況を見ていただきました。

※1：全建賞とは、(社)全国建設技術協会が建設技術の活用並びに公共事業の進め方や運用の工夫等により、特出した成果の得られた、もしくは、特出した成果を得ようとする事業及び施策を選考し、これを実施した機関を表彰するものです。天神川水門の他にも過去に斐伊川水系河川整備計画に位置付けられている、志津見ダム建設事業、尾原ダム建設事業、斐伊川放水路事業も受賞しています。

天神川水門付近の航空写真



見学会の様子

集まっていた白潟地区にお住まいの皆さま



天神川水門の動く様子を見る中央第2児童クラブの皆さま

水門の特徴

松江市景観形成地区であることから、景観に配慮して整備を行いました。



公園内の操作室
白潟公園の既存建物と違和感のない建物となるよう形状、色調に配慮しました。



水門の形式
水門の高さを抑え、眺望を阻害しないライジングセクタゲートを採用しました。

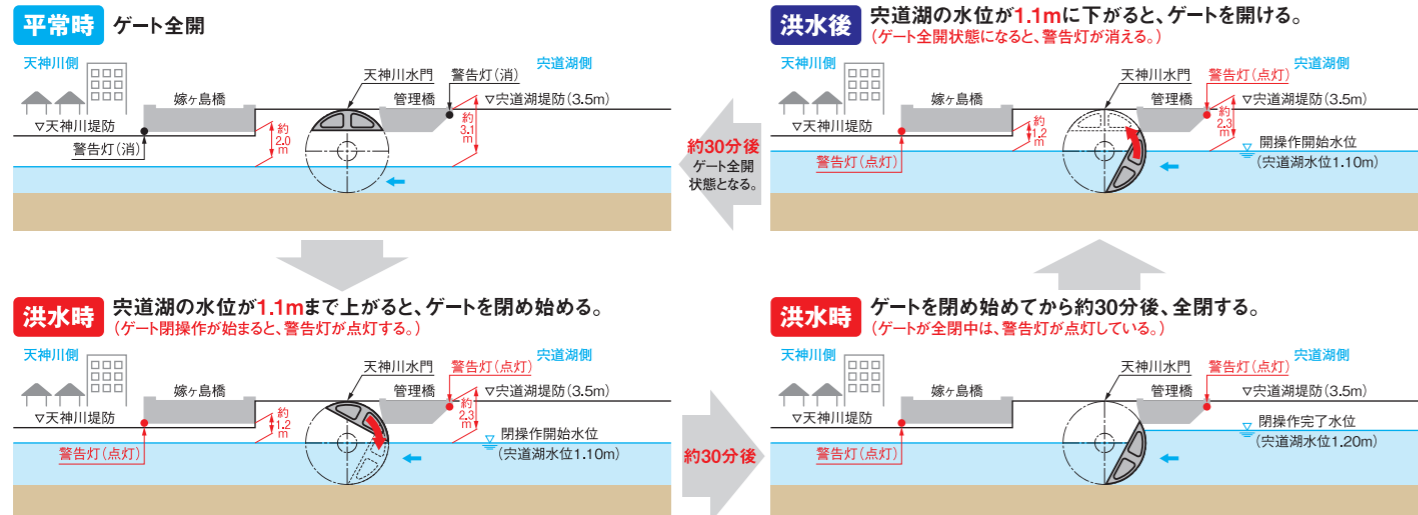


水門の色調など
周辺の風景を損なわないよう、表面仕上げ、管理橋舗装、高欄などに配慮しました。

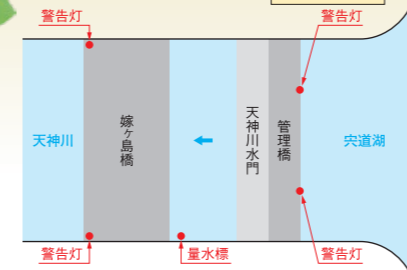
天神川水門の仕組み

・宍道湖の水位に応じて開閉 ・操作時は警告灯が点灯します

※宍道湖水位とは：天神川水門で計測する宍道湖側の水位



警告灯の設置場所(平面図)



天神川水門の操作開始水位について、
現地の量水標からも確認することができます。



天神川水門は、宍道湖水位が1.10mになると操作を開始します。

天神川水門が「しまね景観賞」大賞を受賞

天神川水門は、このたび第23回「しまね景観賞^{※2}」大賞を受賞しました。

周辺環境との調和をめざし、景観に配慮したポイントは、

- ①宍道湖の眺望を妨げないライジングセクタゲートを採用
- ②白潟公園から島根県立美術館への動線と眺望に配慮した管理橋の位置
- ③周囲と調和した水門本体の表面仕上げ
- ④白潟公園と違和感のない管理棟をデザイン

などです。

※2：しまね景観賞は、県内の魅力ある景観を創出しているまちなみや建造物及び活動等について、広く県民から募集し、地域の景観づくりに特に貢献していると認められるものを知事が表彰することにより、県民の景観づくりに対する関心を高めるとともに、快適で文化の薫り高いふるさと島根の景観形成に資することを目的として、平成5年度から島根県が実施。